

地球温暖化防止への取り組み

事業者としての取り組み（工場・事業所）

● 中長期目標

評価：○目標に到達している △目標に近い ×目標と大きく乖離している

目的	目標	対象事業所	具体的取り組み	2010年度実績	評価
地球温暖化防止 (省エネルギー)	エネルギー消費原単位を中長期的にみて(過去5年度間)年平均1%以上低減すること	事業者全体		過去2年度間1%減	○
		産業ガス (千歳、輪西、鹿島、宇都宮、和歌山、小倉、新井、魚津、砺波)	・高効率の大型プラントの設置 ・省エネ設備への変更 ・運転方法の改善	過去5年度間平均0.9%減	△
		ケミカル (鹿島、和歌山)	・設備の更新および改善 ・ポンプなどの回転数制御化	過去5年度間平均2.0%増	×

● 年度目標

目的	目標	対象事業所	具体的取り組み	2010年度実績	評価
地球温暖化防止 (省エネルギー)	エネルギー原単位を前年度に比べ低減する	事業者全体		2009年度比1%減	○
		産業ガス (千歳、輪西、鹿島、宇都宮、和歌山、小倉、新井、魚津、砺波)	・和歌山最新鋭プラント新設 ・ヒーターの加熱回数最適化	2009年度比1%減	○
		ケミカル (鹿島、和歌山)	・ポンプインバーター化 ・軽油設備の循環量最適化 ・ポンプ運転台数の最適化(停止)	2009年度比2%減	○

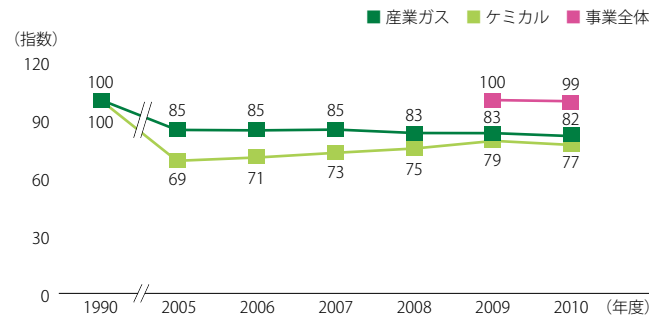
2010年度のエア・ウォーター全体のエネルギー使用量に係る原単位指数は100から99と、1ポイント低減しました。

産業ガス事業では和歌山の大型プラント新設などを行った結果、エネルギー原単位指数は83から82と、1ポイント低減しました。ケミカル事業では、ポンプの運転の最適化、インバー

タ化により、エネルギー原単位指数79から77と、2ポイント低減しました。

CO₂排出量は、鉄鋼関連の需要回復を受けて産業ガスの生産量が伸びたことから、725千t(2009年度比12%増)でした。

● エネルギー原単位指数の推移

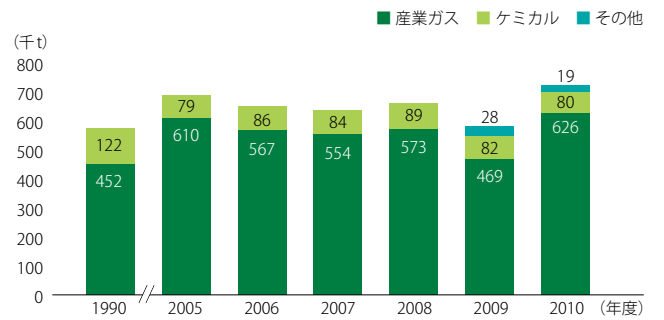


※ 1990年度の原単位を100とする。

エア・ウォーター全体(工場+事務所その他)については2009年度を100とする。

※集計範囲:エア・ウォーター本体の工場・事業場

● CO₂排出量の推移



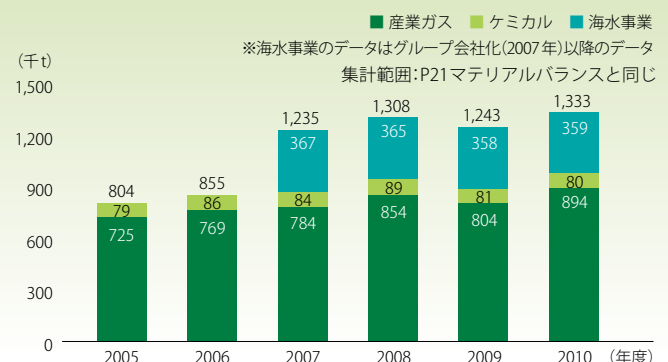
※ 2009年度からは省エネ法の改正に基づき、エア・ウォーター全体(工場+事務所その他)のCO₂排出量を表示

エア・ウォーターグループ主要工場のCO₂排出量の推移

エア・ウォーターグループでは、地球温暖化対策として省エネルギー対策を進め、CO₂排出量の把握、管理を行っています。

2010年度のエア・ウォーターグループにおけるエネルギー使用量が多い工場(省エネ法におけるエネルギー管理指定工場相当)のCO₂排出量の合計は、1,333千t(2009年度比7%増)でした。

● エア・ウォーターグループ主要工場のCO₂排出量の推移



※海水事業のデータはグループ会社化(2007年)以降のデータ
集計範囲:P21マテリアルバランスと同じ

輸送部門での取り組み

● 中長期目標

評価: ○目標に到達している △目標に近い ×目標と大きく乖離している

目的	目標	対象部門	具体的取り組み	2010年度実績	評価
地球温暖化防止 (省エネルギー)	エネルギー消費原単位を中長期的にみて(過去5年度間)年平均1%以上低減すること	荷主部門	・供給基地の新設 ・エコドライブの推進	5年度間平均5%減	○
		輸送部門	・低燃費車の導入 ・エコドライブの実施 ・経路設定の見直し	5年度間平均2%減	○

● 年度目標

目的	目標	対象部門	具体的取り組み	2010年度実績	評価
地球温暖化防止 (省エネルギー)	エネルギー原単位を前年度に比べ低減する	荷主部門	・供給基地の新設(長野地区) ・適正配送による運行回数の低減	2009年度比4%減	○
		輸送部門	・低燃費車の導入 ・エコドライブの実践指導強化 ・輸送車の大型化	2009年度比4%減	○

荷主としての取り組み

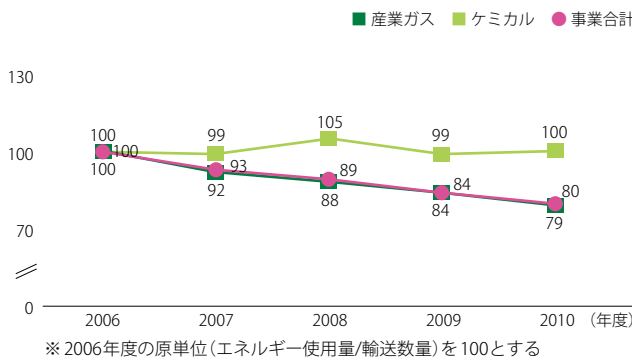
エア・ウォーターは、省エネ法における特定荷主として輸送会社と協力し、輸送における省エネルギーを推進しています。

産業ガス事業では、全国にVSU(高効率小型液化酸素・窒素製造装置)を設置し、従来の臨海型プラント供給から地域分散型供給に切り替えて効率よく配送を行うことによる燃料の低減、

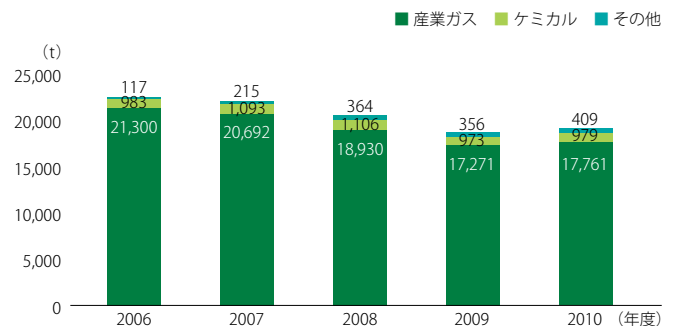
CO₂排出量削減を推進しています。2010年度の委託輸送に係るエネルギー原単位指数は2009年度の84から79と、5ポイント低減しました。

ケミカル事業の委託輸送に係るエネルギー原単位指数は2009年度の99から100と、1ポイント増加しました。

● 委託輸送エネルギー原単位推移



● 委託輸送に係るCO₂排出量の推移



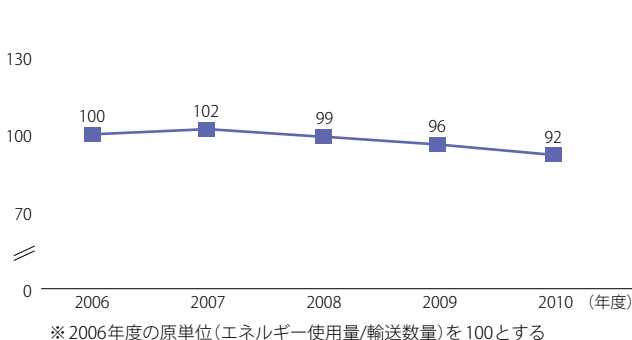
輸送事業者としての取り組み

エア・ウォーターグループの輸送事業者であるエア・ウォーター物流(株)では、省エネ法の特定輸送事業者として環境関連の法規制を遵守し、CO₂排出抑制、自動車排気ガスによる環境汚染の防止対策など計画的に取り組んでいます。

デジタルタコグラフによる車両運行管理の強化を推進しており、2010年度は59台に設置し、全保有車両への装着を完了しました。

また、輸送経路の再設定などを実施したことから、エネルギー原単位指数が2009年度の96から92へと、4ポイント低減しました。

● 輸送に係るエネルギー原単位指数の推移



● 輸送に係るCO₂排出量の推移

